

# 燃料油の供給不足から県知事が直接事業所に緊急出荷を要請した事例(3/18~4/7:計2回)

様式第1  
㊦ 危険物仮貯蔵承認申請書

仙台市消防局長 殿 平成23年 3月 28日

申請者 宮城県仙台市宮城野区 [住所] 氏名 [住所] 氏名 [住所] 氏名

危険物住所 東京都千代田区大手町 [住所] 所有者氏名 [住所] 電話 ( )

仮貯蔵(仮取扱)の場所 仙台市宮城野区 [住所] 場所の地域別 防火地域別 用途地域別

指定なし 工業専用地域

仮貯蔵(仮取扱)に使用 屋 内 外 敷地面積 m<sup>2</sup> 敷地面積 m<sup>2</sup> 建築面積 m<sup>2</sup> 空地の概要

仮貯蔵(仮取扱)期間 平成23年 3月 29日から 平成23年 4月 17日まで

危険物の類、品名、数量 別紙参照 指定数量の 440 倍

貯蔵及び取扱方法 /

管理状況 危険取扱者が管理する

消火設備 第5種 粉末消火設備 10本

仮貯蔵(仮取扱)の理由 宮城県知事の要請による地震災害復興支援のため

その他必要な事項

※ 受 受 受 経過 手数料欄

23.3.28 承認年月日 [住所] 承認番号 第 [住所] 号 減免(20日)

198 号

備考 ※の欄は、記入しないこと。

危険物の類、品名、数量

|         |           |       |      |
|---------|-----------|-------|------|
| ドラム詰    | 品名        | 数量    | 倍数   |
| 灯油      | 400ドラム    | 80kL  | 80倍  |
| 軽油      | (おろし油類)   |       |      |
| ローリー詰   | 品名        | 数量    | 倍数   |
| カヤリン    | 14kL X 4台 | 56kL  | 280倍 |
| (おろし油類) |           |       |      |
| 灯油      | 14kL X 2台 | 56kL  | 56倍  |
| 軽油      | 14kL X 2台 |       |      |
| (おろし油類) |           |       |      |
| 重油      | 12kL X 4台 | 48kL  | 24倍  |
| (おろし油類) |           |       |      |
|         |           | 444kL | 440倍 |

4台/日か限界

工事内容

1. 工事名称  
T-127) ローリー種込用配管改造工事
2. 工事目的  
保管確保のため所用の燃料用  
本工事は、宮城県知事の要請により、タンク貯蔵油  
Eローリー車へ積み込むための配管改造を行うものです。
3. 工事期間  
2011年3月18日～
4. 検査方法  
タンクヘッドにて漏れのないことを確認します。
5. 工事計画  
別紙ご参照
6. 安全対策  
別紙ご参照

1. 種油の種類

- ① ドラム詰め：爪スモ使用レフフ自圧にて種油
- ② ロリー種油： ウェルテホア(EF-5680)にて種油

2. ラインロー

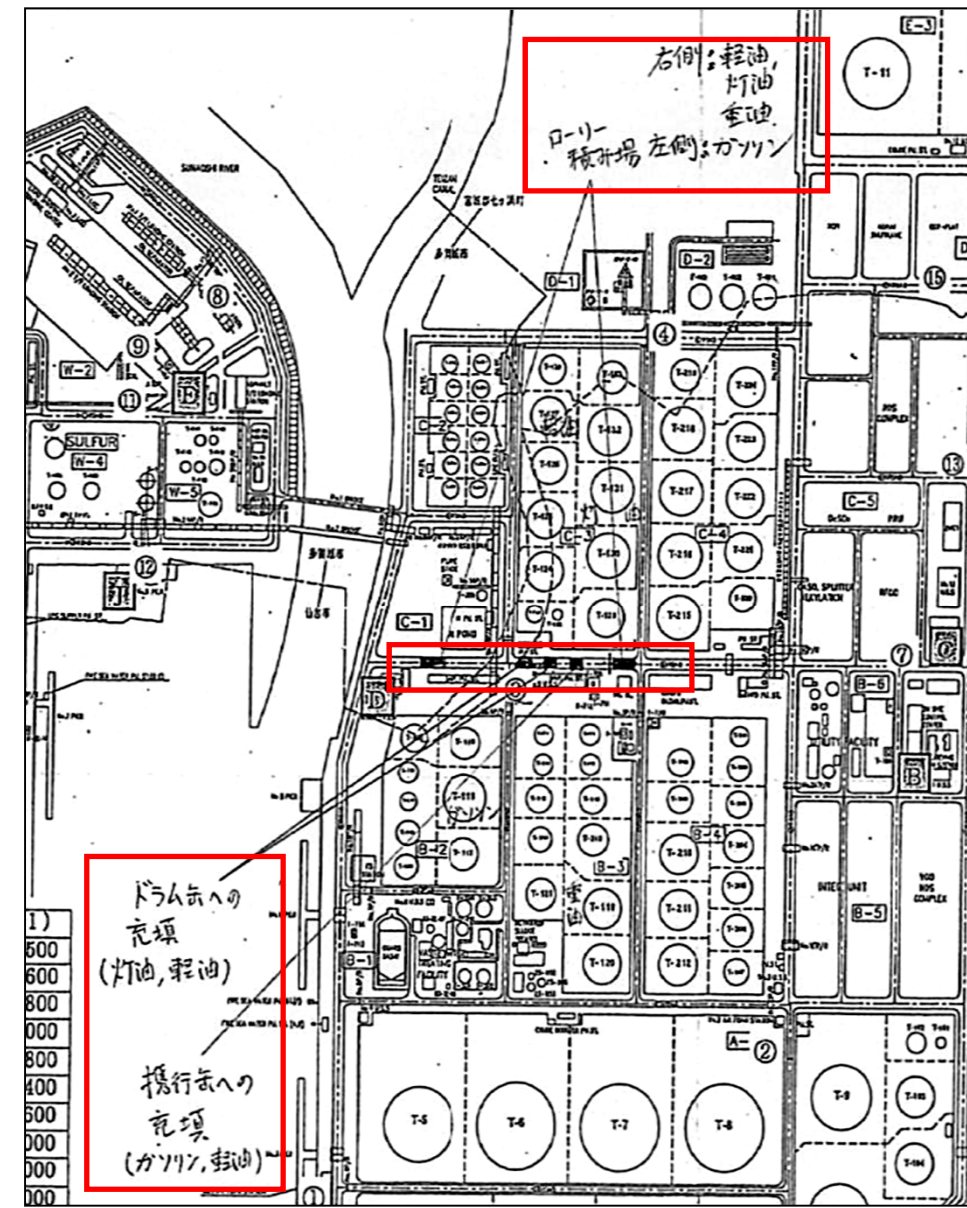
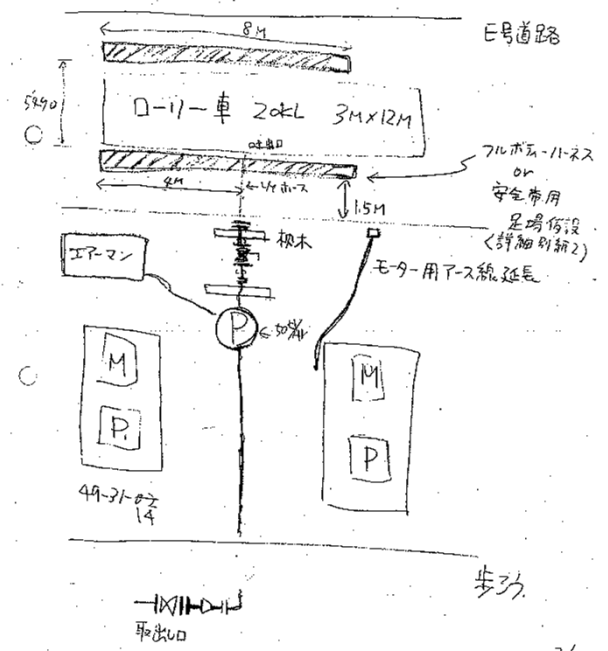
31回参照

3. 種油の種類

- T-127 軽油 (ドラム詰め)
- T-131 灯油 ( )
- T-119 重油 ( )
- T-111 ガソリン (ロリー)

3. 7°Dット

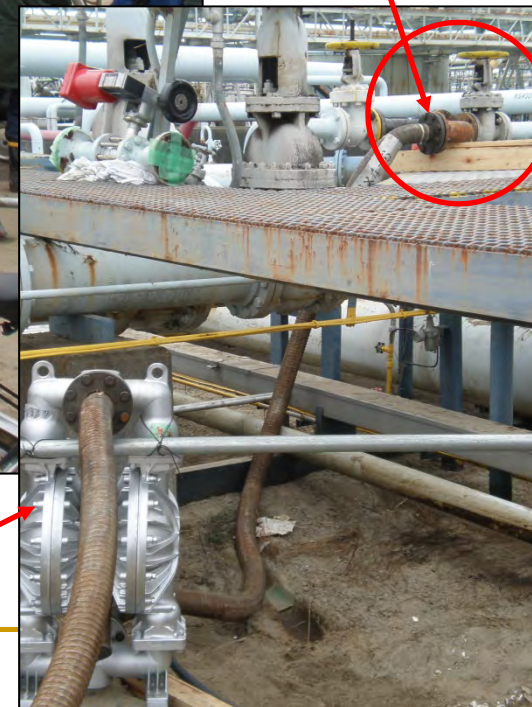
- 全体別紙 1 : (ルート、7-7、ポンプ、ロリー種油)
- 詳細 (ガソリン、下川用)



仮設ローリー充填場



既設配管との  
結合部



アース線

エア駆動ポンプ

仮設ドラム缶充填場



## 津波で被災したタンク内の危険物を抜き取るための仮取扱い事例(4/11～6/14:7回)

様式第1

仮一貯一蔵

危険物仮取扱承認申請書

仙台市消防局長 殿

平成23年 〆月 〆日

申請者

住 所 宮城県仙台市宮城野区

氏 名

危険物  
所有者  
氏 名

東京都千代田区篠栗町

電話

仮貯蔵（仮取扱）の場所

宮城県仙台市宮城野区

場 所 の 地 域 別

防 火 地 域 別

用 途 地 域 別

な し

工 業 専 用 地 域

仮貯蔵（仮取扱）に使用

屋

内 屋

外

する部分の面積

敷 地 面 積

㎡

敷 地 面 積

76,415 ㎡

建 築 面 積

㎡

空地の概要

コナリ・アザミ・雑草

仮貯蔵（仮取扱）期間

平成23年 〆月 〆日から 平成23年 〆月 〆日まで

危険物の類、品名、数量

第1・2石油類 各々2,000KL、第3石油類 200KL、指定数量の 12,100 倍

貯蔵及び取扱方法

既存出荷設備及び仮設出荷設備を使用し、陸上・海上出荷を行う。

管 理 状 況

保安監督者の立会

消 火 設 備

第4種・第5種消火設備、JX西部地区に配備の大型化学消防車及び仙台地区共同防災規模  
第14条に基づきJXに配備の3点セットにて対応、  
（X-1）（X-2）（X-3）

仮貯蔵（仮取扱）の理由

東日本大震災による貯蔵健全性調査を行う為、貯内への油を陸上・海上出荷設備にて出荷。

その他必要な事項

※

付

※

経

過

欄

※

手

数

料

欄

23.4-8

第16号

承認年月日

承認番号

第

号

※減免

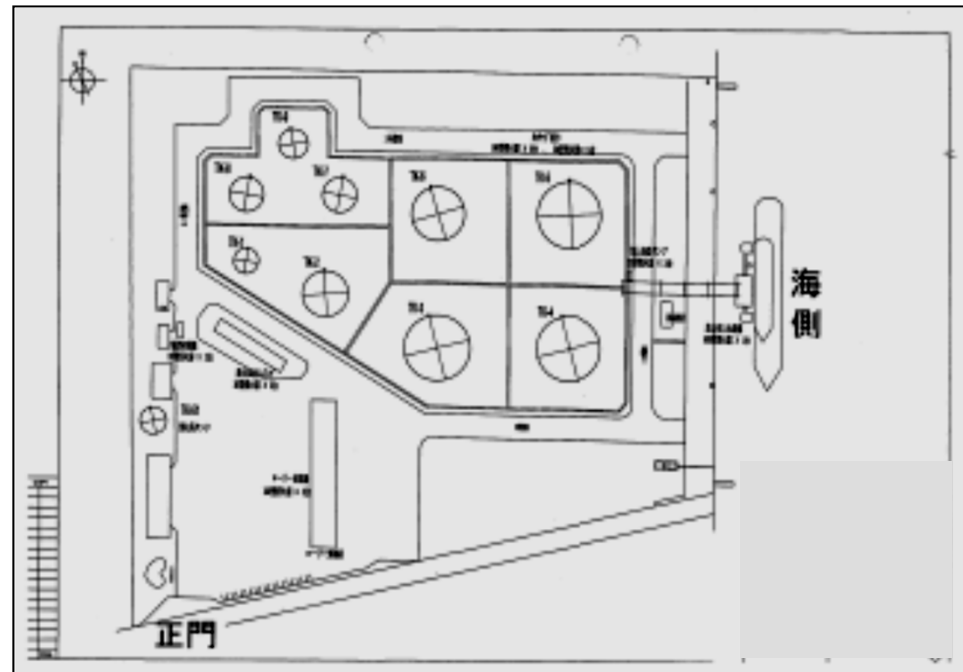
備考 ※の欄は、記入しないこと。

4/8 宮城県建設経済課  
共有2017-100

1. 適用範囲  
本計画書は、の東日本大震災によるタンク船員  
性調査を行うために、既存タンクの内容物を仮設発電機を設置し、既存設備又は仮設設備を  
を使用して行う陸上出荷及び海上出荷作業に適用します。
2. 作業期間  
平成23年4月1日 ~ 平成23年4月20日
3. 設備仕様  
(1) 電源  
仮設発電機を2台設置します。内1台は予備機とします。  
主発電機仕様 310KVA・420V・50Hz 燃料:軽油
- (2) 出荷ポンプ \* 既存ポンプの電動モーターは点検整備実施済み  
(既)ハイオクガソリン陸上出荷ポンプ P-1A 80 kl/hr×15kw  
P-1B 80 kl/hr×15kw  
(既)レギュラーガソリン陸上出荷ポンプ P-2B 300 kl/hr×30kw  
P-2C 300 kl/hr×30kw  
(既)灯油陸上出荷ポンプ P-3A 220 kl/hr×30kw  
(既)軽油陸上出荷ポンプ P-4A 160 kl/hr×30kw  
P-4B 160 kl/hr×30kw  
(既)A重油陸上出荷ポンプ P-5B 90 kl/hr×30kw  
(既)海上出荷ポンプ 600 kl/hr×55kw  
(仮)海上出荷ポンプ 300 kl/hr×30kw  
(仮)海上出荷ポンプ 300 kl/hr×30kw  
300 kl/hr×30kw  
(仮)ハイオクガソリン海上出荷ポンプ 300 kl/hr×30kw  
300 kl/hr×30kw
- (3) 出荷配管  
各油種毎(ハイオクガソリン・レギュラーガソリン・灯油・軽油・A重油) 既存配管を使用し  
ます。
- (4) ローディングアーム  
ローリー用ローディングアーム  
ハイオクガソリン 1-6-3-6-7-6 出荷口のアームを使用します。  
レギュラーガソリン 2-2-4-1-7-1 出荷口のアームを使用します。  
灯油 5-3-5-4-7-3 出荷口のアームを使用します。  
軽油 5-6-6-5-7-5 出荷口のアームを使用します。  
A重油 8-3-8-4 出荷口のアームを使用します。  
マリン用ローディングアーム  
ハイオク・レギュラーガソリン ML-1アームを使用します。  
灯・軽油 ML-2アームを使用します。
4. 作業内容  
(1) ハイオクガソリン陸上出荷  
TK-1及びTK-8出荷ポンプ吸込配管 ~ P-1A、1B ~ 出荷ポンプ吐出配管 ~  
クレーン出荷口(1-6-3-6-7-6 出荷口)より出荷します。
- (2) ハイオクガソリン海上出荷  
TK-1及びTK-8受入バルブ元のユニバーサルジョイントを取外し、ポンプ吸込配管を仮設 ~  
仮設海上出荷ポンプ(300KL/Hr) ~ 海上出荷ポンプ吐出配管をTK-1及びTK-8受入  
配管 ~ 既存TK-1及びTK-8受入配管 ~ マリンローディングアームより出荷します。
- (3) レギュラーガソリン陸上出荷  
TK-2及びTK-6出荷ポンプ吸込配管 ~ P-2B、2C ~ 出荷ポンプ吐出配管 ~ ロー  
リー出荷口(2-2-4-1-7-1 出荷口)より出荷します。
- (4) レギュラーガソリン海上出荷  
TK-2及びTK-6受入配管(海上出荷ポンプ吸込配管) ~ 海上出荷ポンプ ~ 海上出

仮設の発電機を設置し、津波で被災したタンク内の危険物を、陸上・海上出荷設備からタンカー等に積んで他の石油基地へ移送

また、ポンプや配管等も健全性を確認し、使用不能の配管等は仮設で設置し対応



## 災害復興支援車両等への燃料補給に伴う

### 仮貯蔵・仮取扱時における留意事項

仙 台 市 消 防 局

#### 1 静電気対策に関すること

ドラム本体だけでなく、給油に使用するドラムポンプ等からもアースを確保し、確実に静電気を発生させないこと（特にガソリンの貯蔵・取扱）

#### 2 保有空地の確保に関すること。

指定数量の10倍以下・・・3m

指定数量の10～20倍・・・6m

指定数量

ガソリン・・・200ℓ

灯油・軽油・・・1,000ℓ

#### 3 消火設備の配置に関すること

消火器2～3本の配置

#### 4 危険物の浸透・流出防止対策に関すること

地盤面はコンクリート等浸透しない場所を選ぶこと

砂等を配置し漏洩時の流出防止時の対応をとること

#### 5 標識・掲示板の設置に関すること

標識・掲示板を立て関係者に注意喚起を行なうこと

「危険物仮貯蔵・仮取扱所」「品名・数量・倍数」「火気厳禁」30×60（cm）

#### 6 侵入防止対策に関すること

保有空地の周囲にバリケード等を立て空地を確保すること

敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止すること

#### 7 危険物取扱従事者に関すること

危険物取扱者免状保有者（甲、乙4、丙）が取り扱うのが望ましいこと

## 安全対策書

### 1 静電気対策を実施する。

ドラム本体だけでなく、給油に使用するドラムポンプ等からもアースを確保し、確実に静電気を発生させないように留意する。(特にガソリンの貯蔵・取扱)

### 2 保有空地进行 m確保する。

### 3 消火設備を配置する。

消火器 本の配置

### 4 危険物の浸透・流出防止対策をする。

地盤面は浸透しない場所(コンクリート、耐油シートを敷く)  
流出防止対策として砂等を配置

### 5 標識・掲示板を設置する。

「危険物仮貯蔵・仮取扱所」「品名・数量・倍数」「火気厳禁」30×60(cm)

### 6 侵入防止対策を行なう

保有空地の周囲にバリケード等を立て空地を確保すること  
敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止すること

### 7 危険物取扱者免状保有者を優先的に配置させる